



SPECIAL STEEL

December/2009

すてい〜る

目次

● 「賛助会員との交流会」開催	1
● 「新型インフルエンザ対策セミナー」を開催	4
● 「玉掛け技能講習会」を開催	5
● 「中小企業の資金調達に関するセミナー」を開催	7
● 特殊鋼販売技士2級・3級合格者名簿	8
● 突然おじゃま 長田富行 石原鋼鉄(株)代表取締役社長	11
● 私の愉しみ 三上聡彦 ノボル鋼鉄(株)取締役社長	12
● 理事会・委員会報告	13
● 事務局だより	14
● 「はがねの日」記念切手の購入ご協力のお願い・編集後記	裏表紙



社団法人全日本特殊鋼流通協会

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町3丁目2番10号 (鉄鋼会館)
 TEL.03-3669-2633・2777 FAX.03-3669-0395
 ホームページ <http://www.zentokkyo.or.jp>
 E-mail zentoku3@ba2.so-net.ne.jp

各支部で「賛助会員との交流会」を開催



■東京支部

開催日時：2009年7月24日(金)18：00～

開催会場：東京會館 ロイヤルルーム

東京支部の交流会は、長田富行副支部長(石原鋼鉄・代表取締役社長)の司会で進行。メーカーおよび流通から約110名が出席しました。第1部は、山種美術財団理事長(山種美術館長)の山崎妙子氏による講演「山種美術館の速水御舟」が行われました。御舟の代表作を中心にスライドで解説がなされ、日本画鑑賞のポイントやその奥深さを学ぶ、貴重な時間となりました。

続く第2部では和気あいあいとした中で交流会を開催。冒頭、湊義明支部長(野村鋼機・代表取締役)は「賛助会員の皆様には数々の行事へのご協力に感謝します。まだまだ景気は厳しいが10月以降の好転に期待したい」とあいさつ。古東一仁様(大同特殊鋼・工具鋼部営業部長)の来賓あいさつ、林田敬一様(日本高周波鋼業・常務取締役)の乾杯のご発声と続き、盛会の内に鴨山明正副支部長(東海鋼鉄・代表取締役)の中締めで散会となりました。



【山崎妙子・プロフィール】

東京都生まれ。1984年、慶應義塾大学経済学部卒業。東京藝術大学大学院美術研究科修士課程を経て91年博士課程修了。学術博士。同年、山種美術財団理事・山種美術館特別研究員。副館長を経て、2007年5月、山種美術財団理事長兼山種美術館館長に就任し、現在に至る。著書に、『速水御舟の芸術』(日本経済新聞社)、『現代日本素描全集④速水御舟』(ぎょうせい)など。

湊支部長あいさつ



メーカー、商社の皆様には、特殊鋼販売技士の講座をはじめ、昨年9月の台湾研修や女性のための教養講座、あるいはオール関東親善ゴルフ大会など、この1年間さまざまな行事にご協力いただきましたこと厚く御礼申し上げます。今年も、工場見学会や講演会などいろいろ企画しております。賛助会員の皆様にはこれまで以上に

ご参加いただけますようお願いいたします。今年の賀詞交換会で私は「遠い雲の彼方に明るい兆しが見える…」と申し上げましたが、景気の方はいまだ厳しい状況です。しかしながら、「陽はまた昇る」とも申します。この第3四半期以降の好転を期待するとともに元気を出して、賛助会員の皆様には特殊鋼業界発展のため、共に盛り上げていただけるようお願い申し上げます。

古東一仁様ご来賓あいさつ



先日、テレビに今回の金融危機を数年前から予測したフランスの経済学者ジャック・アタリ氏が出演していました。その中で印象に残ったことが2つありました。ひとつは、強力な資本主義市場に対しては強力な民主主義による統制とルールが必要だ、ということです。2つめは、強大な市場が国家をも飲み込んでいく“超帝国”の時代がくる

が、紛争などさまざまな葛藤をへて、人は最終的に他人の幸せに価値を見いだすようになる、ということでした。企業も将来的には人間の幸せを追うことが価値になる、ということです。アタリ氏によれば、その時代はもっと先のようなのですが、現在の特殊鋼を取り巻く環境をあてはめても、非常に苦しいこんなときこそ、業界に携わる皆様と力を合わせ助け合わなければいけないと感じた次第です。

講演会

～山種美術館の速水御舟～

「賛助会員との交流会」第1部は、山種美術財団理事長で山種美術館長の山崎妙子氏が「山種美術館の速水御舟」を講演されました。

日本画のコレクターとして知られた祖父・山崎種二氏の影響で、「1歳のころより祖父のひざの上で日本画鑑賞を始めた」という山崎氏は、「絵を見るということは、いい気分転換になるはず。美術の世界に興味を広げるきっかけになれば」との観点から、速水御舟を中心とした名画の数々をスライド上映。画材や岩絵の具など日本画の基本的知識の解説から始められ、御舟の代表作「炎舞」についても「背景の闇の色は、絹布に墨と黄色味がかかった朱色を薄く何度も塗り重ねたもので、画家本人も『もう二度とは描けない色』というほど苦心の末に生み出されたもの」と、その鑑賞ポイントを解説。

「日本画は日本人の感覚によくなじみ、感じるところも多いはず。山種美術館でも来館者は50代以上の女性を中心に、中高年のご夫婦のリピーターが多い。是非、一度美術館に足を運ばれて、生の名画に触れてほしい」とその魅力について語られました。



▶乾杯のご発声で林田様は「このような時期にこそ、忙しかった時にやり残したことに取り組んでおき、回復の暁には以前にも増して高いレベルに到達しよう」とあいさつされました。



■大阪支部

開催日時：2009年11月10日(火)17:00～
開催会場：ヒルトン大阪(大阪市北区梅田)

約70名が出席した大阪支部の交流会は、例年とは趣向を変えて第1部にミュージカルソウの第一人者サキタハチメ氏によるのこぎり演奏会を開催。「見上げてごらん夜の星を」、サンサーンスの「白鳥」などミュージカルソウ独特の哀愁漂う繊細な音色を奏でたかと思えば、横山ホットブラザーズでおなじみの「オマエはアホか」のリクエストに応えるなどサキタ氏の変幻自在なパフォーマンスに会場は大いに盛り上がりました。そして、この日の目玉だったのがサキタ氏に作曲を依頼した全特協のテーマ曲のお披露目。「ハガネは熱くて強くて柔らかい。そんなイメージを持って、未来に向かって進んでいく、爽やかな曲をつくったつもりです」というテーマは、いまのところ曲名が未定とのこと。「もし、いいタイトルがあれば後で教えてください」と笑いを誘いました。



続く第2部では、福原実晴支部長(南海鋼材・代表取締役社長)のあいさつの後、藪木清様(山陽特殊製鋼・常務取締役)が乾杯のご発声をされました。終始、賑やかな雰囲気の中で歓談が進み、樋口克彦副会長(天彦産業・代表取締役会長)の一本締めで盛会の内に散会となりました。

福原支部長あいさつ



サキタ氏の空に突き抜けるようなハガネ(のこぎり)の響きに感動した演奏会でした。深い谷は幅が狭い、との例えがあります。この不況について

昨年はいまごろは、半年もすれば上昇気流に乗って谷から脱出できるかと思いましたが、これほどまでに幅が広いとは思いませんでした。しかし、この9～10月には動きが出てきたのではないかと思います。1～5月は5割ダウンでしたが、昨日、さるカーメーカーの工場を見たら鍛造機がバリバリ動いていました。もうすぐ、皆様方のひざ元まで回復の音が響くのではないかと。そう信じ、あと1か月あまり期待しております。

樋口副会長あいさつ



私は、全特協のほか大阪南港鉄鋼流通協同組合の理事長も仰せつかっております。そこでも、連続赤字が7か月とか8か月とかそんな話ばかりで、メーカーや

ユーザーの在庫調整は相当進んできて、流通はまだまだなのかな、という気がしています。ところで、私の会社はもともと鋸屋で、昭和35年ごろまで日本式ののこぎりを製造していました。日本ののこぎりは引いて切りますが、サキタ氏が演奏で使われた西洋ののこぎりは押しで切る。日本式は、なんでもかんでも自分の方のため込むのでストレスばかり。これからは、押し出して道を切り開かなくてはいけないな、と思いながら演奏を聞いていました。

藪木清様あいさつ



全特協のテーマ曲は、とてもビュアな音色ですごく明るく躍動的で元気が出るメロディーでした。全特協の皆様の気持ちが表れていたのではないのでしょうか。とこ

ろで、鳩山首相がCO₂の25%削減を言っておられますが、政治的なパフォーマンスだけにならないよう注意する課題だと思っております。まず、日本だけが排出権取引などで巨額の国費を費やすのではないかと。2番目には米国や中国、インドなど排出量の多い非加盟国に参加を求め、議定書を実のあるものにする。3番目は日本に不利益である1990年基準の見直しを求めること。日経新聞には、日本は排出権を買いながら神戸製鋼1社分の粗鋼生産を止めなければいけないかも、という記事がありました。われわれ鉄の世界でも、そうした危機感を持って意見をしなければならぬのでは、と思っております。

名古屋支部

開催日時：2009年9月15日(火)17:30～

開催会場：東京第一ホテル錦(名古屋市中区)

約60名が出席した名古屋支部の交流会は、樋田浩三内外交流部会長(三悦・代表取締役)の司会でスタート。開催にあたり熊谷多津旺支部長(クマガイ特殊鋼・代表取締役社長)は、「賛助会員の皆様には全特協を支えていただき感謝しています。名古屋支部は副支部長が若いせいか、活動も活発で内容も充実している。特殊鋼を取り巻く環境は、多少は回復しているようだが、あと一息頑張りたい」などとあいさつしました。

その後、各部会長から本年度の活動状況が報告され、続く第2部では東京医科大学名誉教授・藤田紘一郎氏による「美しい社会の落とし穴～免疫力をつける生活～」が講演されました。講演会終了後の懇親会では、辻田博史様(山陽特殊製鋼・名古屋支店長)がごあいさつに立たれ、乾杯のご発声を。講演のテーマにちなみ、「免疫(過去の経験)を活かし、いち早く発展を」などと団結と協調を誓い合いながら歓談が交わされ、樋田芳運営委員長(辰巳屋興業・取締役副社長)の中締めで散会となりました。



熊谷支部長あいさつ



賛助会員の皆様には、日ごろより全特協一同を支えていただき厚く感謝しております。名古屋支部は他支部に比べて世代交代が早く進んでおり、副支部長の年

齢が若い。そのため、支部長はその上に乗っかっているだけでよく、若い世代が一生懸命やっただけで、活動は非常に活発。もちろん、内容も日本一だと誇らしく思っています。特殊鋼を取り巻く経済状況は、自動車関係が上向いてきましたが優遇税制の期限切れのほか、民主党政権による政策の経済への影響など、動向を見守るべきところが多々あります。多少の景況回復はありますが、まだまだ満足いくものではないはず。あと一息がんばって、この状況を乗り切っていきましょう。

辻田博史様あいさつ



本日9月15日は、ちょうど1年前に米国のリーマン・ブラザーズが破綻した日です。米国発の金融危機は予想を超えて全世界に波及し、日本にも大きな痛手を与えた

1年間でした。100年に1度ともいわれるこの大不況は、21世紀の経済構造が20世紀の延長線では計れなくなったという市場からのメッセージなのかも知れません。思えば、私が社会人になったころ10以上あった都市銀行は、いまでは4行だけとなりました。コンビニが銀行に参入したかと思えば、大手百貨店の統合など小売業界の変化も著しい。いつの時代にも変化はありますが、この激変の時代にわれわれ業界も健全な競争と協調で発展しなければいけません。特に、名古屋は特殊鋼の一大生産拠点です。名古屋のメンバーが一致団結して特殊鋼業界を盛り上げていきましょう。



【藤田紘一郎・プロフィール】

1939年：中国・旧満州生まれ
1965年：東京医科歯科大学卒業
1970年：東京大学医学部助手(寄生虫学専攻)
2005年～東京医科歯科大学名誉教授
人間総合科学大学教授(免疫・アレルギー学)現在に至る

現在は感染免疫学・寄生虫学の専門家の視点から、現代社会の過剰な清潔志向に警鐘を鳴らし、微生物との共生による自然治癒力健康法を説く。
著書=「笑うカイチュウ」など、TV出演「世界一受けたい授業」など

「新型インフルエンザ対策セミナー」を開催

対策チーム立ち上げやBCP作成など実践的な内容を紹介



この夏以来、北米発の新型インフルエンザが世界的な流行をみせており、今後、東南アジアで散発的に発生している強毒性の鳥インフルエンザの感染拡大の可能性も懸念されています。こうした感染症の蔓延で、企業活動に重大な支障をきたす恐れがある中、全特協では経営者はこのような事態にどう臨めばよいのか、というテーマでセミナーを開催しました。

新型インフルエンザ対策セミナーは、名古屋を皮切りに、東京、大阪の3支部で順次開催。各会場で講師を務められた藤井恵氏(三菱UFJリサーチ&コンサルティングシニア・コンサルタント)は、①新型インフルエンザの発生状況や今後の予想などの「問題の所在確認」

②アンケート結果を基にした「他社の対策進捗状況」 ③対策チーム等の「具体的な進め方」 ④行動計画作成のポイントとなる「まとめ」、という構成でセミナーを進行。

この中で、「インフルエンザだけでなく感染症の拡大に無策であれば、ビジネスへの悪影響はもちろん社員・顧客等への万一の事態が起こりうる。こうなれば、社会的制裁を受けることは確実。“不可抗力だった”と言い切れる体制づくりが必要」との前提に立って、企業内で対策が進まない理由を、①経営者の認識・意識が低い ②対策本部をつくっても何をすればいいかわからない ③社員が協力的でない、の3点を挙げました。

その上で藤井氏は、それぞれの解決策を説明し、「60～70%の精度でもよいので計画を立てる。対策本部の下には情報収集チーム、海外赴任者チーム、社員教育チーム、備蓄品購入者チーム、BCP(事業継続計画)チームなどを結成する」などと行動計画の骨子と進め方を詳細に解説。特に、BCP作成については「継続しないと社会・取引先からの信用を失う業務や自社にとって大きな影響をおよぼす業務である中核業務を特定すること。万一のときの中核業務継続のための人材や資源の確保手段を検討し、めどをつけておくことでインフルエンザ以外の対策にも役立つ。また、こうした見直し作業の副次効果として社内業務効率の見直しなども期待できる」と、その重要性について言及しました。



【藤井恵氏・プロフィール】

神戸大学経済学部卒業後、大手証券系シンクタンクに入社。1997年2月より、三和総合研究所(現・三菱UFJリサーチ&コンサルティング)に勤務。三菱東京UFJ銀行発行の海外投資ガイドブック、ハンドブックの企画、編集、執筆を担当。海外駐在員の給与・税務・保険を専門(税理士有資格者)に、新型インフルエンザ対策までグローバルなコンサルティング業務を実践中。

■東京支部

開催日時：2009年9月24日(木)15:00～18:00

開催会場：鉄鋼会館 参加人数：50名

セミナーに先立ち宮地時夫東京支部人材育成部会長が「この企画は春先から検討していましたが、30度を超えるような暑い中、インフルエンザでもないだろうと季節を待っていたものですが、皆様もご存じのとおり夏の甲子園で高校野球の選手とか応援団とかが集団感染するなど、国内で一気に拡大したことに驚いています。元来、日本は島国ということもあり、清潔で安全と当たり前のように思っている節があります。そのため、こうした感染拡大のニュースが一気に広まると、パニックになることを含めて危機意識が少し弱いのかな、と思われま。本日は、藤井先生のお話しからしっかりと勉強して、冷静沈着に対処できるようになれば、と思います」とあいさつしました。



■大阪支部

開催日時：2009年9月29日(火)13:30～16:30

開催会場：大阪鉄鋼会館 参加人数：52名

全特協大阪支部のほか、大阪ステンレス流通協会、特殊鋼倶楽部大阪支部の大阪地区特殊鋼3団体の共催でセミナーが開催されました。福原実晴支部長のあいさつ後、社員全員の食料60日間分を備蓄している企業の実例などが紹介されながらセミナーは進行。講演後の質疑応答では、「インフルエンザによるリスク期間はどのくらいみればいいのか?」「出社制限措置で社員を休ませる際の扱いは?」「代替要因がない場合はどうすればいいのか?」など熱気にあふれたやりとりが交わされ、その関心の高さがうかがわれました。

■名古屋支部

開催日時：2009年6月30日(火)13:30～16:00

開催会場：安部ホール 参加人数：79名

セミナーに先立ち熊谷多津旺支部長が、「当セミナーは本部運営委員会において佐久間副会長が『啓蒙活動として今のうちからの開催が必要』と提案があり、東京・大阪・名古屋の3支部で本部から費用負担を受けて開催することになりました。新型インフルエンザ感染者は昨日まで国内で1196名にのぼります。そのうち86%が20代で60代以上は1%と少ないのが現状です。しかし、不安をおおるわけではないのですが、いつ我が身に降りかかってくるかわかりません。社員全員のことを考えて、今から対策を行っておく必要があります。そうした意味では、大変参考になるセミナーだと思います」とあいさつしました。

全日本特殊鋼流通協会・経営効率化委員会主催

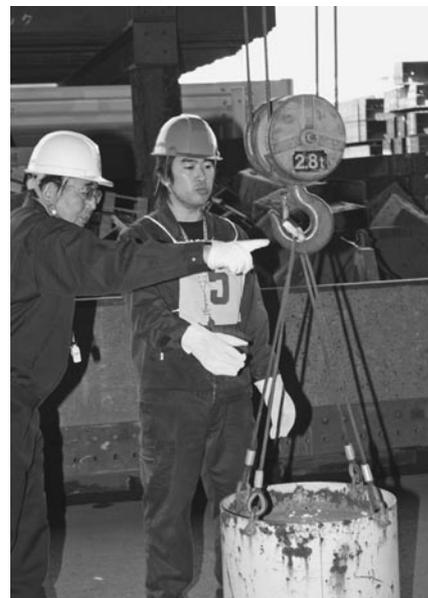
「玉掛け技能講習会(併クレーン運転業務特別教育)」を 東京、大阪、名古屋の各支部で開催



全特協では、昨年から実施している協会独自の従業員安全プログラム「玉掛け技能講習会」を、本年は「クレーン運転業務特別教育」と併せて開催しております。

荷物をワイヤーロープでクレーン等のフックに掛け、安全に移動させるための作業を「玉掛け」と呼びますが、労働安全衛生法では吊り上げ荷重1トン以上のクレーンやデリック、移動式クレーンなどによる作業は、玉掛け技能講習を修了した者でなければ就くことができない、と規定されています。

全特協では会員企業の従業員の安全教育をより充実する目的で、昨年より支部単位に補助金を交付して技能講習会を実施。本年は平成21年7月6日(月)の大阪支部を皮切りに、東京、名古屋の3支部で開催されました。



■東京支部

玉掛け技能講習に加えてクレーン運転業務特別教育(玉掛け技能講習修了者が対象)を併せて実施した東京支部では、10月10日(土)に浦安鐵鋼会館(千葉県浦安市)で20名の受講者を対象に第1回の学科講習を開始しました。

2つの講習科目を併せて行った本年は、関係法令に始まり、クレーン等に関する知識や玉掛けに必要な力学、玉掛けおよびその合図の方法など内容が多岐にわたり、学科と実技をあわせて計4日間の講習会となっており、第2回目の学科講習は10月17日(土)[会場：浦安鐵鋼会館]に実施。実技講習は10月18日(日)にクレーン運転を、11月1日(日)には玉掛けを、それぞれ(株)エムオーテック市川工場様(千葉県市川市)を会場に開催しました。受講者全員がワイヤーロープの掛け外しやそれに伴う声かけ合図などの一連の



作業を、緊張感にあふれながら繰り返し行い、安全運転技能を習得しようと真剣に取り組んでいました。

初回の学科講習に先立ち、東京支部・経営効率化部会の確井達郎部会長は「4日間におよぶ講習は大変かと思います。しかし、近年では企業のコンプライアンスに関する姿勢はますます厳しく問われるようになっており、こうした資格が必要不可欠な環境になっています。是非、皆様方にはこの講習会でしっかりと勉強され、労働安全衛生の観点からそれぞれの会社に貢献される人材になっていただきたい」とあいさつしました。

■大阪支部

大阪支部の玉掛け技能講習会は、(株)日本オペレーター協会様のご協力を得て、7月6日・13日・22日および10月10日・24日・31日の6日にわたり、大阪府四條畷市の大阪特殊自動車学校で開催されました。参加人数は合計で29名。用具確認から始まり、吊り荷の中心点確認、上昇・下降時のワイヤーロープのねじれ確認など、安全面に留意しながら講習が行われました。



■名古屋支部



10月2日(金)、住友建機販売(株)名古屋技術研究所で行われた名古屋支部の講習会は40名の受講者が参加。冒頭、松岡隆司経営効率化部会長は「私どもは、この玉掛けクレーン併合講習を非常に大切なものと考えており、協会から補助を受けて皆さんに受講していただいております。新型インフルエンザも流行しておりますので、自己管理をしていただき、遅刻や欠席のないよう一生懸命勉強して、晴れて受講者全員が修了証を交付されますようお願いいたします」とあいさつしました。

「中小企業の資金調達に関するセミナー」を開催

不況の長期化を念頭に事業継続のための金融対策を

昨年来の不況の中、中小企業の資金繰りは政府の緊急融資制度などもあって小康状態を保っています。しかし、特殊鋼流通にかかわるほとんどの分野では、いまだこの不況から脱しきれない状況です。

こうした経済情勢が長期化することを視野に入れ、事業継続のための金融対策を講じる必要性があります。そこで、全特協では不況下の金融対策として「銀行とどのように対応し、良好な関係が保てるか」など、具体的な方策を勉強するためのセミナーを平成21年9月16日(水)に東京(出席45名)、10月9日(金)に名古屋(同32名)、11月27日(金)に大阪の各支部で開催しました。



銀行の行動原理は“格付け”経営計画書が通行手形になる

東京・茅場町の鉄鋼会館で行われたセミナーは、元銀行マンで現在は金融コンサルタントの中村中氏(ファインビット社長)を講師に招き、貸し渋り・貸しはがしの下での対策と手段について聞きました。中村氏は、銀行の審査基準が格付け重視型に移行していると力説。これまでの「銀行支店長をはじめとした担当者重視の交渉は役に立たない」とした上で、貸借対照表による格付けアップの方法を紹介しました。

「銀行は、定量分析と定性分析の2工程で企業の財務分析を行う。その財務分析でいい評価を得るには、(1)バランスシートの中で総資産額と借入金を圧縮すること (2)利益率を高めること (3)自己資本比率を上げること——以上3点が大事」とした上で、「そこで重要なのが経営計画書。販売力や技術力、後継者育成のほか業界団体とのかわりなど社会貢献性をアピールし、企業価値を高め、経営改善の方針を示す計画書があれば、格付けは下がらない決まりになっている。これからの経営者は、会社のブランドを高めるため『モノをいう経営者』にならなくてははいけない」などと解説されました。

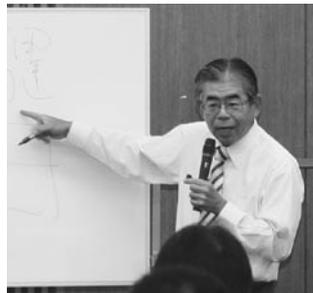
そのほか、債務返済のリスケジュール(リスク・返済条件の緩和)に関する交渉術も披露。銀行側の論理に即しながら、申請方法や交渉ノウハウなどを具体的に解説し、ここでも「経営改善計画書が銀行への通行手形になる」と、その有用性を強調。「銀行のことをよく知り、モノいう経営者となって交渉してほしい」など、実務的な内容の数々に出席者は熱心に聞き入っていました。

■東京支部

藤田忠義 経営効率化委員長あいさつ



リーマンショックから1年、今日は民主党政権の組閣もあって激動の1年という感じがします。今後の政策次第では、年末に2番底があるかも知れないといわれています。そうあつては困りますが、いづれにしても、われわれ企業は事業を継続しなくてはなりません。そうした意味で今回の金融対策セミナーは、身近な金融問題を聞けるのではないのでしょうか。これから年末に向けて環境は厳しいですが、先生のお話しを有効に活用して、がんばっていきましょう。



■中村中氏／略歴

1950年東京生まれ。慶応義塾大学経済学部を卒業後、三菱銀行(現三菱東京UFJ銀行)に入行。銀行関連会社の取締役等を経て、2001年(株)ファインビットを設立。現在は同社代表取締役、中小企業診断士、金融コンサルタント。上場企業等数社の社外取締役、監査役を務めるほか、中小企業金融に関する「中小企業経営者のための銀行交渉術」「中小企業経営者のための格付けアップ」ほか著書多数。

■名古屋支部

名古屋支部の金融セミナーは、10月9日(金)に愛知県産業労働センター(名古屋市中村区)で開催。はじめに、松岡隆司(松岡特殊鋼・代表取締役)経営効率化部会長が「各国の減税効果等により、国内の一部企業では底打ち感が見受けられるが、全体的にはまだまだ厳しい状況が続くと予測される。このようなときには、金融機関と密接な関係を築くことが大切」とあいさつ。講演内容は東京支部とはほぼ同じですが、金融機関との交渉で疑問があったら金融庁のホームページを見ることを奨励。トップページの中ほど「地域密着型金融」から「その他中小企業金融の円滑化」の中に、「中小企業の皆様へ」「知ってナットク!」というPDFがあり、金融庁が中小企業にとって有利な情報を直接PRしていると紹介。特に、中村氏が「革命的な商品」としてあげたのが「挑戦支援資本強化特例制度」。これは、企業の業績が悪くなくても返済を迫られない資本金(劣後ローン)で、参加者にとって大いに役立つような情報の数々が提供されました。



■大阪支部

台風のため11月27日に順延となった大阪支部の金融セミナーは、大阪鉄鋼会館で行われました。(内容は上記同様)

平成21年度 特殊鋼販売技士2・3級合格者名簿

平成21年度 特殊鋼販売技士2級合格者名簿

特殊鋼販売技士2級講座は次の各支部で開講し、平成21年10月22日(木)検定試験を実施いたしました。

講師各位の採点結果にもとづき平成21年11月11日(水)特殊鋼販売技士検定試験委員会で合否判定を行い下記の合格者数が決まりました。

支部	受験者数	合格者数
東京	91	68
大阪	79	58
名古屋	73	42
東北	3	3
北関東	15	13
静岡	19	16
九州	35	25
合計	315	225

成績優良者

[東京支部]
松村 弘道 下村特殊精工(株)
[名古屋支部]
朝比 隆行 日立金属アドメット(株)
[北関東支部]
平山 僚一 井上特殊鋼(株)

平成21年度 特殊鋼販売技士2級 合格者名簿

東京支部

Aグループ(構造用鋼・ばね鋼) 合格者37名

山田 貴裕 浅井産業(株)
加藤 誠 〃
稲葉 建二 池垣冷鋼(株)
古市 勇太 〃
大野 孝昌 井上特殊鋼(株)
國田 泰司 佐藤商事(株)
永岡 達也 〃
松田 裕樹 〃
東 寛人 山陽特殊製鋼(株)
古賀絵美子 〃
鞍掛 美紀 〃
糸谷 知紗 〃
村上 堯 〃
安藤 貴之 清水鋼鐵(株)
蜂須賀佑一 大同興業(株)
稲葉 寛子 〃
小西 崇之 〃
後藤 啓太 〃
土屋 洋輔 〃
大平 勉 大洋商事(株)
鈴木 重史 〃
茂嶋 博之 〃
中里 寛和 中川特殊鋼(株)
藤井 自歩 〃
板屋 徹 野村鋼機(株)
石橋佐知子 (株)早川カンパニー
宮内康一郎 林精鋼(株)
太田 尊之 〃
金子 昇 日立金属アドメット(株)
八木原大輔 (株)平井

今泉龍太郎 (株)ファインスチールエンジニアリング
今泉桂次郎 〃
田中 和義 〃
程田 博紀 藤田商事(株)
七字 昭彦 三井物産(株)
安 小舟 〃
永井 克之 三井物産スチール(株)

Bグループ(工具鋼・軸受鋼) 合格者9名

北澤 倫也 青山特殊鋼(株)
谷本 英之 浅井産業(株)
関和 正志 石原鋼鉄(株)
藤原 信哉 ウッデホルム(株)
加藤 道郎 大同マテックス(株)
平山 賢司 東京ハガネ(株)
美甘 直樹 日立金属(株)
富田 史 〃
森田 雅樹 森田金属工業(株)

Cグループ(ステンレス鋼・耐熱鋼) 合格者22名

富岡 佳香 石原鋼鉄(株)
小原 尚忠 (株)UEX
佐藤 一敬 〃
江口 徹 〃
池上 光博 エスメタル(株)
山田 剛 佐藤商事(株)
高橋 佑大 〃
加辺 祐樹 〃
前田 高輔 山陽特殊製鋼(株)
坂田 誠二 清水金属(株)
平賀 武夫 下村特殊精工(株)
飯嶋 恵一 〃
松村 弘道 〃
森田 康仁 大同興業(株)
船本 佳晃 〃
川島健太郎 (株)西山商店
酒井 俊介 日立金属(株)
長濱 弘樹 〃
片野 知純 藤田商事(株)
石川 朗 三井物産(株)
大西 優輝 〃
山中 哲也 ヤマト特殊鋼(株)

大阪支部

Aグループ(構造用鋼・ばね鋼) 合格者37名

林 祐輔 井上特殊鋼(株)
大西 良介 〃
遠藤 誠 〃
中橋 直之 〃
今泉 洋佑 〃
増田 桂子 〃
西村 匠 岡谷鋼機(株)
中村 勝 カネヒラ鉄鋼(株)
池田 知史 〃
小西 晃平 〃
山本 雅之 佐藤商事(株)
富中 剛 〃
菅原 翔太 〃
高橋 秀典 〃
高田 明仁 山陽特殊製鋼(株)
妻木 信隆 三利特殊鋼(株)

小坂 英明 JFE商事建材販売(株)
斉木 常志 ショートク(株)
小西 翔太 大同興業(株)
本城 豊 大東精機(株)
東 貞成 〃
下田 大輔 大博鋼業(株)
木村 泰士 〃
前川 亮 〃
金子 幸文 大洋商事(株)
浦塚 卓矢 〃
南 和範 〃
杉本 大輔 辰巳屋興業(株)
矢野 洋祐 〃
岩本 英斗 中川特殊鋼(株)
川上 善由 白鷺特殊鋼(株)
石井 伸明 〃
本多 孝典 〃
山口 稔 阪神特殊鋼(株)
西本 圭吾 (株)阪神メタリックス
谷川 宣明 三菱製鋼(株)
今倉 勢剛 (株)メタルワン特殊鋼

Bグループ(工具鋼・軸受鋼) 合格者15名

竹井 栄太 ウメトク(株)
山根 大弥 〃
松元 正臣 〃
下村 泰彦 扇 鋼材(株)
石田 大記 佐々木鋼業(株)
沼端 力 三和特殊鋼(株)
車谷 大地 大東精機(株)
早松 正裕 大同マテックス(株)
岡田 大祐 〃
中村 隆二 〃
雨谷 文之 日本高周波鋼業(株)
林 直子 〃
岡 直毅 日立金属工具鋼(株)
沼波 友行 理研製鋼(株)
中島 正晴 菱光特殊鋼(株)

Cグループ(ステンレス鋼・耐熱鋼) 合格者6名

赤松実之和 伊勢鋼材(株)
北村 裕介 岡谷鋼機(株)
西岡 武 住商特殊鋼(株)
尾川 恵三 大同興業(株)
西園 優也 〃
東浦修太郎 (株)パシフィックソーワ

名古屋支部

Aグループ(構造用鋼・ばね鋼) 合格者21名

国原 章功 愛知製鋼(株)
西川 尊康 〃
堀崎 雄太 〃
前島 宅臣 〃
向井 蒼明 井上特殊鋼(株)
黒岩 良崇 (株)岡谷特殊鋼センター
安河内昭徳 (株)神戸製鋼所
浜島 慎介 (資)近藤ハガネ商店
小川 洋右 (株)三悦
田中 伸明 大同興業(株)
山下 耕平 〃
加藤 晶 大同マシナリー(株)

井上 大 大洋商事(株)
小笠原奨太 〃
森 勝史 孟鋼鉄(株)
渡邊あすみ 〃
坪内 一憲 (株)テクノタジマ
亀井信太郎 中川特殊鋼(株)
塩山 一博 阪和興業(株)
立木 篤識 富士機鋼(株)
岩室 昭宏 宮崎精鋼(株)

Bグループ(工具鋼・軸受鋼) 合格者17名

加藤 重行 ウッデホルム(株)
阿南 賢一 岡谷鋼機(株)
中西 隆裕 (株)カミス
清水 淳 グリーンスチール(株)
乙部 活雄 小山鋼材(株)
辻 正雄 〃
佐藤 光政 高周波精密(株)
近藤 吉行 (資)近藤ハガネ商店
岡村 靖朗 (株)三悦
小松 智美 孟鋼鉄(株)
鷲野 敦司 名古屋特殊鋼(株)
朝比 隆行 日立金属アドメット(株)
勝原 隆太 〃
福田 崇英 松岡特殊鋼(株)
山根 康平 〃
大石 怜亮 (株)山一ハガネ
堀田 尚利 〃

Cグループ(ステンレス鋼・耐熱鋼) 合格者4名

高野 誠 岡谷鋼機(株)
炭山 友 大同興業(株)
阿部 雄治 (株)大同分析リサーチ
林 真吾 東北特殊鋼(株)

東北支部

Aグループ(構造用鋼・ばね鋼) 合格者1名

石川 信保 (株)佐藤忠蔵商店

Bグループ(工具鋼・軸受鋼) 合格者2名

菅野 久夫 ノボル鋼鉄(株)
黒川 浩成 (株)メカパーツ

北関東支部

Aグループ(構造用鋼・ばね鋼) 合格者3名

立石 健悟 井上特殊鋼(株)
平山 僚一 〃
飯塚 孝宏 (株)鐵鋼社

Bグループ(工具鋼・軸受鋼) 合格者10名

三宅 寛人 小山鋼材(株)
椎名 悦子 〃
神山 靖子 〃
曾雌 和徳 〃

小松崎 孝 (株)カムス
 河野 詠司
 植野 和則
 有坂 孝二
 飯塚 聖敏
 森田 智之 日立金属工具鋼(株)

加藤 貴志
 Bグループ(工具鋼・軸受鋼)
 合格者7名
 栗野 春彦 青山特殊鋼(株)
 名取 智也
 増田 真也 (株)サンコー
 福原 幸司
 原 雅俊 東泉鋼機(株)
 齋藤 卓人 ノボル鋼鉄(株)
 小林 賢

山本 剛士
 井上 雅洋
 新野 晃司
 石原 督巳
 山本 徹
 山野 俊隆
 森田 優 佐藤商事(株)
 古賀 靖章
 秋吉 和典 大洋商事(株)
 金 春実
 堀 健太郎
 一瀬 勇希
 木下 朋子 三菱製鋼(株)
 柴田 昌倫 (株)メタルワン特殊鋼
 大原 健太

池尻 国博 扇鋼材(株)
 林 健太郎 清水金属(株)
 中野 茂幸 大同特殊鋼(株)
 松岡 親生 日立金属工具鋼(株)
 尾崎 一英

静岡支部

Aグループ(構造用鋼・ばね鋼)
 合格者9名

松本 典馬 井上特殊鋼(株)
 渡辺 孝 小林鋼材(株)
 松山 真 佐久間特殊鋼(株)
 倉田 恵輔
 山縣 秀隆 ノボル鋼鉄(株)
 神吉 友花
 六瀬真奈美
 平井 智也 (株)平井

九州支部

Aグループ(構造用鋼・ばね鋼)
 合格者17名

杉原 徹 井上特殊鋼(株)
 測上 健一

Bグループ(工具鋼・軸受鋼)
 合格者6名

川本 祥貴 ウメトク(株)

Cグループ(ステンレス鋼・耐熱鋼)
 合格者2名

石橋 玲規 井上特殊鋼(株)
 吉永 裕章 大洋商事(株)

平成21年度 特殊鋼販売技士3級合格者名簿

特殊鋼販売技士3級講座は次の各支部で開講し、平成21年7月9日(木)検定試験を実施いたしました。

講師各位の採点結果にもとづき平成21年7月23日(木)特殊鋼販売技士検定試験委員会で合否判定を行い下記の合格者数が決まりました。

支部	受験者数	合格者数
東京	131	130
大阪	93	93
名古屋	90	90
北関東	19	18
静岡	24	24
合計	357	355

100点取得者 合計30名

[東京支部：5名]
 宮澤 秀之 下村特殊精工(株)
 山口 正宏 大同特殊鋼(株)
 古川 太郎 (株)ナカタニ
 田中 素宏 (株)平井
 石川 朗 三井物産(株)

[大阪支部：10名]
 大西 良介 井上特殊鋼(株)
 中村 勝 カネヒラ鉄鋼(株)
 高田 明仁 山陽特殊製鋼(株)
 西園 優也 大同興業(株)
 早松 正裕 大同マテックス(株)
 南 和範 大洋商事(株)
 雨谷 文之 日本高周波鋼業(株)
 川上 善由 白鷺特殊鋼(株)
 本多 孝典
 吉田 道弘 吉田興業(株)

[名古屋支部：14名]
 阿南 賢一 岡谷鋼機(株)
 林 壮幸 川本鋼材(株)
 清水 淳 グリーンスチール(株)
 辻 正雄 小山鋼材(株)
 浅野玲央菜 佐久間特殊鋼(株)
 勝 智琴
 加藤 里紗
 澤井 裕典 辰巳屋興業(株)
 早川 慶 東洋精鋼(株)
 亀井信太郎 中川特殊鋼(株)
 加藤 友彦 名古屋特殊鋼(株)
 朝比 隆行 日立金属アドメット(株)
 福田 崇英 松岡特殊鋼(株)
 王 朝暉 宮崎精鋼(株)

[静岡支部：1名]
 倉田 恵輔 佐久間特殊鋼(株)

平成21年度 特殊鋼販売技士3級 合格者名簿

東京支部

福島 良太 青山特殊鋼(株)
 佐藤 剛
 北澤 倫也
 高田 達司 秋山精鋼(株)
 山田 貴裕 浅井産業(株)
 神宮 亮太
 濱野 義己
 星 昌宏 新井ハガネ(株)
 稲葉 建二 池垣冷鋼(株)
 古市 勇太
 酒井 周作 石原鋼鉄(株)
 山田 裕仁
 関和 正志
 冨岡 佳香
 齊藤 賢裕 伊藤忠丸紅特殊鋼(株)
 田中 三武
 佐々木 優
 川口 恭裕
 松本 博明 井上特殊鋼(株)
 関澤 理恵
 冨岡 佳香 (株)UEX
 三木 太郎
 油井 麻裕子
 吉野 敦
 中村 睦喜
 瀧瀬 博康 ウメトク(株)
 藤本 秀彦 岡谷鋼機(株)
 丹野 浩明 亀澤特殊鋼(株)
 長鳥 健 合同製鐵(株)
 木戸 基雄
 村上祐理子 (株)神戸製鋼所
 加藤 学 佐藤商事(株)
 高橋 佑大
 永岡 達也
 村上 堯 山陽特殊製鋼(株)
 鞍掛 美紀
 古賀絵美子
 東 寛人
 前田 高輔
 糸谷 知紗
 齊藤 秀之 芝本産業(株)
 大塚 雅知 清水金属(株)
 島村 武明
 安藤 貴之 清水鋼鉄(株)
 飯嶋 恵一 下村特殊精工(株)
 松村 弘道
 江澤 功二
 高山 博功
 宮澤 秀之

山越 康司
 伊藤 優子
 萩田 頼信 城北伸鉄(株)
 石川 俊幸
 上田 淳奈
 小林 篤史 (株)昭和鋼機
 工藤 弘幸 新日本製鐵(株)
 大野 智洋
 石橋 洋祐
 東山 整悟 大同興業(株)
 稲葉 寛子
 小西 崇之
 後藤 啓太
 土屋 洋輔
 福岡 雄児
 森田 康仁
 船本 佳晃
 金原 寿久
 後藤啓之介
 井上 富広
 鈴木 亮
 杉山 修一
 植村 道治 大東精機(株)
 後藤 秀幸 大同特殊鋼(株)
 栗村 裕美
 山口 正宏
 荒木 葉子 ダイニチ工業(株)
 大平 勉 大洋商事(株)
 大出 慎吾
 茂嶋 博之
 山口 幸子 (有)タナカプレジジョン
 平山 賢司 東京ハガネ(株)
 山田 亮人 中川特殊鋼(株)
 中里 寛和
 藤本 自歩
 折原 里美
 渡辺 文
 村上 道子
 安藤 健一 (株)ナカタニ
 古川 太郎
 劉 権
 川島健太郎 (株)西山商店
 内田 雄太 日鐵商事(株)
 高久 仁
 高橋 延行 日本ファスナー工業(株)
 板屋 徹 野村鋼機(株)
 石橋佐知子 (株)ハヤカワカンパニー
 酒井 俊介 日立金属(株)
 高篠 知子
 長濱 弘樹
 富田 史
 美甘 直樹
 小出 貴之 日立金属アドメット(株)
 沼田 俊介
 金子 昇
 八木原大輔 (株)平井
 石丸 徹

田中 素宏
 今泉龍太郎 (株)ファインスティールエンジニアリング
 今泉桂次郎
 田中 和義
 神居 祐亮 藤田商事(株)
 片野 知純
 野代 哲郎
 程田 博紀
 渡部あゆみ (株)ブルーラス
 田中 慶太
 森岡 佳奈
 矢可部哲也 松井鋼材(株)
 七字 昭彦 三井物産(株)
 安 小舟
 大西 優輝
 石川 朗
 鈴木 力也 三井物産スチール(株)
 大川 宏治
 堤 仁志
 佐藤 清孝 三菱製鋼(株)
 松下 献
 矢作 横平 (株)メタルワン
 山中 哲也 ヤマト特殊鋼(株)
 大川 功

大阪支部

石田 純平 青山特殊鋼(株)
 藤谷 潔
 江田 英明
 赤松実之和 伊勢鋼材(株)
 丸山 洋志
 林 祐輔 井上特殊鋼(株)
 大西 良介
 遠藤 誠
 中橋 直之
 増田 桂子
 今泉 洋佑
 中川 誠 (株)UEX
 金原 淳
 山根 大弥 ウメトク(株)
 松元 正臣
 下村 泰彦 扇鋼材(株)
 高瀬 周治 加藤鋼材(株)
 西川 清英
 中村 勝 カネヒラ鉄鋼(株)
 荻野 政徳
 小西 晃平
 平井 淳
 池田 知史
 三宅 康司 櫻井鋼鉄(株)
 山本 雅之 佐藤商事(株)
 菅原 翔太
 松岡 亮
 高田 明仁 山陽特殊製鋼(株)
 妻木 信隆 三利特殊鋼(株)
 野上 博司

松田 哲也	三和特殊鋼(株)	原 一英	〃	出口 大祐	〃	酒徳 嘉洋	〃
沼端 力	〃	秋庭 泰史	〃	藤本 健	〃	高木 昭男	〃
宮崎 良太	〃	谷川 宣明	三菱製鋼(株)	小林 常宏	鈴木特殊鋼(株)	堀田 尚利	〃
藤本 哲也	JFE商事(株)	植原 裕	(株)メタルワン特殊鋼	永田 実	〃		
小坂 英明	JFE商事建材販売(株)	今倉 勢剛	〃	渥美 真弥	大同興業(株)		
藤岡 剛史	シヨートク(株)	寺西 昭二	(株)メタルワン 鉄鋼製品販売	石黒 嗣朗	〃		
大島 達也	神鋼商事(株)	山田 智秋	(株)山田ハガネ	江頭 賢治	〃		
金森 裕次	〃	竹村 仁志	山野鋼材(株)	岡田 健生	〃		
堀内 大基	〃	吉田 道弘	吉田興業(株)	栗木 秀行	〃		
田中健二郎	〃	沼波 友行	理研製鋼(株)	炭山 友	〃		
北島 祥一	住金物産(株)	下垣 圭太	菱光特殊鋼(株)	田中 伸明	〃		
小西 翔太	大同興業(株)	中島 正晴	〃	高橋 俊一	〃		
尾川 恵三	〃			野下 貴博	〃		
西園 優也	〃			三根 大介	〃		
東 貞成	大東精機(株)			杜 玲菜	〃		
早松 正裕	大同マテックス(株)			山口友香理	〃		
中村 隆二	〃			山下 耕平	〃		
岡田 大祐	〃			阿部 雄治	(株)大同分析リサーチ		
下田 大輔	大博鋼業(株)			加藤 晶	大同マシナリー(株)		
木村 泰士	〃			鈴木 健嗣	〃		
太田 育男	〃			山下 雄大	大和興業(株)		
前川 亮	〃			石川 裕司	孟鋼鉄(株)		
森岡 裕貴	太平鋼材工業(株)			石田 敦士	〃		
藤川 洋平	〃			伊東 真人	〃		
浦塚 卓矢	大洋商事(株)			桑原 真大	〃		
金子 幸文	〃			澤井 裕典	辰巳屋興業(株)		
岡本 洋平	〃			酒井 一賢	東洋精鋼(株)		
南 和範	〃			早川 慶	〃		
杉本 大輔	辰巳屋興業(株)			荒川 千夏	中川特殊鋼(株)		
矢野 洋祐	〃			亀井信太郎	〃		
岩本 英斗	中川特殊鋼(株)			今枝 大門	名古屋特殊鋼(株)		
雨谷 文之	日本高周波鋼業(株)			齋藤 高嗣	〃		
林 直子	〃			鈴木 朋成	〃		
寺谷 公男	ハクロスティール(株)			伊達 直也	〃		
川上 善由	白鷺特殊鋼(株)			平井 学	〃		
山手 博文	〃			朝比 隆行	日立金属アドメット(株)		
石井 伸明	〃			勝原 隆太	〃		
本多 孝典	〃			松元 健大	富士機鋼(株)		
東浦修太郎	(株)パシフィックソフ			室田 賢二	〃		
安東 亮平	林田特殊鋼材(株)			福田 崇英	松岡特殊鋼(株)		
寺地 亮	〃			山根 康平	〃		
松本 晃全	〃			岩室 昭宏	宮崎精鋼(株)		
山口 穰	阪神特殊鋼(株)			王 朝暉	〃		
守屋 隆介	(株)阪神メタリックス			河治 康介	〃		
西本 圭吾	〃			小谷 太一	〃		
多田 祐一	〃			光山 恵子	(株)名岐		
岡 直毅	日立金属工具鋼(株)			浅井孝文	(株)山一ハガネ		
藤岡 健	〃			伊藤 泰祐	〃		
新谷 弘之	古池鋼業(株)			岩倉 佑	〃		
中谷 建太	(株)堀田ハガネ			大石 怜亮	〃		
藤原 洋	三井物産スチール(株)						

北関東支部

平山 僚一	井上特殊鋼(株)
三宅 寛人	小山鋼材(株)
悦子	〃
神山 靖子	〃
吉原 龍二	〃
長田 昌毅	金井特殊鋼材(株)
小松崎 孝	(株)カムス
河野 詠司	〃
植野 和則	〃
有坂 孝二	〃
飯塚 聖敏	〃
鯨井 徹也	(有)三和特殊鋼
飯塚 孝宏	(株)鐵鋼社
吉田 聡	新潟竹内ハガネ(株)
森田 智之	日立金属工具鋼(株)
高相 陽輔	〃
出井 慎也	(株)マクスコーポレーション
西村 竜也	〃

静岡支部

栗野 春彦	青山特殊鋼(株)
名取 智也	〃
森塚 茂身	石原鋼鉄(株)
弓桁 順子	〃
遠藤 康広	井上特殊鋼(株)
千葉 義明	〃
松本 典馬	〃
鈴木 良規	小山鋼材(株)
武田 尚樹	佐久間特殊鋼(株)
倉田 恵輔	〃
寺田 秀平	(株)サンコー
福原 幸司	〃
鈴木 純奈	清水金属(株)
鈴木 民枝	〃
石橋 光寿	〃
原 雅俊	東京鋼機(株)
山縣 秀隆	ノボル鋼鉄(株)
武田 剛	〃
神吉 友花	〃
六瀬真奈美	〃
齋藤 卓人	〃
小林 賢	〃
平井 智也	(株)平井
加藤 貴志	〃

■特殊鋼販売技士支部別有資格認定者

平成21年11月12日現在

	東京	大阪	名古屋	東北	北関東	静岡	九州	その他	計
1級	966	896	543	75	63	71	16	1	2,631
2級	1,593	1,493	968	104	119	119	91	60	4,547
3級	2,587	1,770	1,617	171	197	244	131	211	6,928
計	5,146	4,159	3,128	350	379	434	238	272	14,106

昭和51年(1976年)よりの累計数

■特殊鋼販売加工技士支部別有資格認定者

	東京	大阪	名古屋	東北	北関東	静岡	九州	その他	計
実務編	200	145	98						443
基礎編	753	670	523	100	22	26	40	72	2,206
計	953	815	621	100	22	26	40	72	2,649

平成7年(1995年)よりの累計数

■特殊鋼販売技士・販売加工技士支部別有資格認定者累計表

	東京	大阪	名古屋	東北	北関東	静岡	九州	その他	合計
合計	6,099	4,974	3,749	450	401	460	278	344	16,755

突然おじゃま



石原鋼鉄(株)代表取締役社長／長田富行

石原鋼鉄(株)は、冷間工具鋼をメインにプラスチック型用鋼、熱間工具鋼などを取り扱い、今年で創業96年を迎える。大同特殊鋼の国内向け工具鋼流通の約18%を占めるとともに、国内最大級の切断機連動型自動立体倉庫を保有するなど大手工具鋼問屋として特殊鋼流通業界に重きをなす。昨年5月に社長に就任、6月からは東京支部の役員も務められている長田富行氏のお人柄をうかがうとともに、全特協のことなど今後の抱負もあわせて語っていただいた。

業界でも歴史ある会社の代表として 協会活動には積極的に取り組みたい

■造船から漁網まで、なんでもござれのハガネのキャリア

まさに、鉄鋼一筋の経歴である。

1981(昭和56)年にニチメン(現・双日)に入社。配属されて担当したのは造船厚板だった。

「3年後には特殊鋼部へ。ステンレスをはじめ工具鋼、構造用鋼とひととおり。チタン漁網という変わり種もありました」

チタンの漁網というのは1996(平成8)年からあった社内合弁で、ブリなどの養殖で使う「いけす」の網をほとんど腐食しないチタンで開発。長田社長は全国の漁協や網元を客先に、北は花巻から南は鹿児島まで、海辺を2年間歩き回ったという。

その後は、2002(平成14)年まで小樽の電炉メーカー・新北海鋼業に出向し、営業部長として建築用の鉄筋丸棒の販売を担当した。

「ゼネコン相手に何百トンという商売です。政治的な要素が非常に強く、ある意味、鉄を知らなくても売れる。それまでも、これ以降も「品質を含めて鉄を売る」というのが私のキャリアでしたから、この時代は異色。ただ、『こういう商売もあるのか』とおもしろく思いながらやりましたね」

■特殊鋼業界を熟知し、中国でも2社の代表を務める

北海道から東京に戻った翌2003(平成15)年、ニチメンの鉄鋼事業譲渡に伴い、住商スチールへ。同年12月に大同特殊鋼の工具鋼販売の上海拠点であ

り、石原鋼鉄も出資する上海日嘉金属製品の総総理(CEOに同じ)に就任。この会社が設立された1997(平成9)年当時、ニチメンで立ち上げのための稟議書を書いていたのが長田社長だったというから、これも縁だ。ただ、そんな上海での席を温めるとまもなく、次なる特命が下った。

翌2004(平成16)年10月には広州方面での需要に応えるための新会社、佛山頂鋒日嘉模具の総総理として佛山市順徳に赴任。土地契約や工場の建設契約からと、まさにゼロからの立ち上げ。人材採用はもちろん、営業的にも受注ゼロからのスタートだったという。

進出の背景には、広州トヨタなど日系カーメーカーのニーズがあったものの、企業への帰属意識や道徳観など日本とは異なる中国人スタッフの人選から教育まで、組織づくりを心を砕いた。

「もっとも困ったのは中国の法律です。地域や担当者によって法律の解釈や運用がまちまちで、厳格になったり緩和されたり、まさに朝令暮改。やっぱり人治国家なんだな、と思いました」

そんな苦労の末に営業も軌道に乗り、順調に黒字を上げるまでになった。

「世界不況で少しは落ちたといえ、中国の購買力はすごい。そんな時期に仕事ができた。貴重な経験でしたね」

■流通あってこそ特殊鋼、同じ目標に向けた融和が協会の役割

昨年帰国し、現職に就くとともに全特協にかかわることになった。現在は、東

京支部の副支部長と総務部会長を務め、ブロック会議の中央地区の座長でもある。

「問屋とハガネ屋との間に、少し距離があるかな、とは感じます。しかし、それを埋めるのがブロック会議。竹内会長もいろんなところに顔を出されて融合を図られています。湊支部長は会員に役立つイベントを積極的に企画されています。石原鋼鉄は業界で歴史ある会社で、2代目社長は協会の法人化にも尽力された。私も最大限協力させていただきます」

特殊鋼は、流通網を大事にしてこそその業界だと長田社長は考えている。

「だって、何キロ何グラムの商売ですから。その中で、流通はしっかりと同じ方向を向いて、お互いにWin-Winの関係でやっていかなくては。そんな目的のための、情報交換が全特協の役割のひとつ。グローバル化が進むからこそ、国内需要を守るために流通の果たす役割は大きいと思います」

国内外でこの道一筋だった長田社長だからこそ、この言葉は得心がいく。

1958(昭和33)年2月東京・板橋生まれ。都立小石川高を経て、1981(昭和56)年慶大(法)卒。小学4年から26歳までは剣道一筋(3段)。現在の趣味は「海の中はまったく別世界。最高のリラクゼーション」というスキューバ・ダイビング。伊豆、沖縄のほか昨年は海南島にも足を伸ばした。「体を動かすことが好き」なため、登山、フィットネス、冬のスキーと季節をとおして退屈しないとか。

私の愉しみ

ノボル鋼鉄(株)取締役社長／三上聡彦



真夏の太陽をいっぱい浴び、清流にアユを追う

■小鮒釣り、かの川

「小さなころから魚釣りが好きでね。海よりは川。市ヶ谷のお堀、行徳の小川でフナやクチボソ釣りによく行った。懐かしいね」

小学3年にもなると三上少年は、友人達と、釣具を担いで省線、トローリーバスを利用し行徳方面に良く出かけていった。昭和20年代の浦安かいわいは遠浅の砂浜がつづく漁村で、その後背には田園地帯が広がっていた。小学5年から調布に移り、近所に多摩川があり、自転車を走らせはや、ヤマベ釣りによく通ったという。そんな、のどかで懐かしい風景の中で小さな魚たちと戯れていたのだ。

「大物志向よりは数釣りの方が楽しかった。季節ごとの草花や昆虫たちとの出会いなど、釣りに飽きても退屈しないのが川釣りにひかれた理由かな」

少年の好奇心をくすぐり満たしてくれる、宝石箱のような存在が川だった。そんな三上社長が清流へと踏み出したのは中学2年のときだった。

「父の古くからの友人が、アユ釣りに連れて行ってくれてね。もう一発で"とりこ"になった」

そう当時を振り返る三上社長は、アユ釣りの季節になると毎週のように秋川や丹波川という、奥多摩の川に繰り出した。釣法はもちろん友釣りだ。

■無我の境地になれる真夏の清流

アユは夏になると、川石についた苔を食べるために縄張りを持ち、そこに侵入する他のアユを攻撃する。その習性を利用し、掛け針で武装した友アユを誘導して釣り上げるのだが、当時の釣り竿は竹製の長く重たい物だった。

4間(7.2m)もの長さになる友竿は重さ

1kg以上にもなり、仕舞寸法も1.5mほどになる。さらに、友アユを生かしておくためのオトリ缶など、この釣りは道具立ても大がかりになる。

そんな、重装備を背負って三上少年は、朝も暗いうちから電車に乗り込み、さらに上流へと向かうバスに揺られた。

「友釣りは6月下旬から8月までの季節限定の楽しみ。だから、春先から川に思いをめぐらせて仕掛けを作っていくとかのワクワク感が大きい」

早起きも重い荷物もまったく苦にならないわけは、まだまだある。

「清流の中で竿先に全神経を集中させてアユを追う、無我の境地。そして、鳥のさえずりやセミしぐれなどの情景も最高のぜいたく」

■釣ってよし、食べてよし

中高と熱中したアユ釣りは、「大学のころは友人たちと街遊びに興じるようになり」遠ざかったが、東北特殊鋼に勤務していた仙台時代は釣り好きの同期とともに「工場の終業ベルが鳴ると急いで名取川へ飛んでいった」とか。

夫人の実家が前橋のため、渋川や利根川上流、ときには魚野川や千曲川などまで遠征することも多かったのが、30代から40代にかけての10年間。

「川流れや石組みを読み、狙ったところに友アユがスッと入っていく。追ってきた野アユがダウン、と掛かったときのしてやったり感。大きな魚ではないが、引きは強いし急流の中の駆け引きはエキサイティングなもの」

そんな釣味もさることながら、「食べてよし」もアユ釣りの醍醐味だという。

「天然アユは香りがとてもよく、内臓までうまい。荒瀬で育ったアユは、体高が

あって身も厚い。こんがり焼けば頭から尻尾まで食べられる。夏を丸ごとほお張る。そんな喜びだね」

ここ数年は、釣り竿よりもゴルフクラブを手にする人が多い、という三上社長。

「60も半ばになり、アユ釣りの感覚が薄れないうち、そろそろ出かけてみようと思っている。前橋には道具一式が置いてあるから、あのあたりでの再開だね」

中国の格言に、次のものがある。「1時間幸せになりたいなら酒を飲みなさい。3日間幸せになりたいなら結婚しなさい。1週間幸せになりたいなら豚を殺して食べなさい。一生幸せになりたいなら釣りをしなさい」と。

真夏の清流と、そこに跳ねるアユ。この躍動感と癒しは、確かに、一生忘れられない至福の時となる。



30年間使い込んでも塗りの美しさは変わらない。群馬の和竿師・中村作と銘のある4間の継ぎ竿。

理事会・委員会報告

第32回理事会

日時：平成21年10月29日 16:00～17:00 於：鉄鋼会館
内容：1. 議案
第1号議案：平成21年度上期事業報告書(案)及び収支決算書(案)承認の件
第2号議案：理事選任の件
第3号議案：会員の入・退会承認の件
2. 報告事項：委員会報告、事務局報告

第53回運営委員会

日時：平成21年10月29日 12:00～13:45 於：鉄鋼会館
内容：1. 審議事項：(第32回理事会・議案に同じ)
2. 第14回定時総会について
3. 報告事項：支部報告、委員会報告

第38回総務委員会

日時：平成21年10月27日 16:00～17:30 於：鉄鋼会館
内容：1. (第53回運営委員会に同じ)
2. 上期監事監査結果について

第30回内外交流委員会

日時：平成21年10月21日 12:00～14:00 於：大阪・鉄鋼会館
内容：1. 平成21年度委員会事業(海外研修)について
2. 各支部の内外交流事業について

第32回人材育成委員会

日時：平成21年9月2日 12:00～14:00 於：名古屋・安保ホール
内容：1. 特殊鋼販売技士「入門編」3支部受講者アンケート報告及びテキストについて
2. 研修制度の内容を検討するWG報告(第12回、第13回議事録)
3. 平成21年度特殊鋼販売技士3級検定試験結果について

人材育成委員会

第14回研修制度の内容を検討するワーキンググループ会議

日時：平成21年9月9日 12:00～15:00 於：名古屋・安保ホール
内容：1. 特殊鋼販売加工技士研修制度改善について
2. 特殊鋼販売技士「指導要領書」の作成について

人材育成委員会

第15回研修制度の内容を検討するワーキンググループ会議

日時：平成21年11月17日 12:00～15:00 於：名古屋・安保ホール
内容：1. 特殊鋼販売技士3級～1級「指導要領書」作成案について
2. 特殊鋼販売加工技士「研修制度の改善案」及び「研修制度の指導要領案」

人材育成委員会

特殊鋼販売技士検定試験委員会

日時：平成21年7月23日 15:00～17:00 於：鉄鋼会館
内容：1. 特殊鋼販売技士3級検定試験の合否判定
2. 講師講評

人材育成委員会

特殊鋼販売技士検定試験委員会

日時：平成21年8月26日 15:00～17:00 於：鉄鋼会館
内容：1. 特殊鋼販売技士2級研修講座の講師事前打合せ
2. 検定試験問題の考え方について

人材育成委員会

特殊鋼販売技士検定試験委員会

日時：平成21年9月29日 15:00～17:00 於：鉄鋼会館
内容：1. 特殊鋼販売技士2級検定試験問題の選定について
2. 新規問題について

人材育成委員会

特殊鋼販売技士検定試験委員会

日時：平成21年11月11日 15:00～17:00 於：鉄鋼会館
内容：1. 特殊鋼販売技士2級検定試験の合否判定
2. 講師講評

人材育成委員会

特殊鋼販売加工技士検定試験委員会

日時：平成21年10月7日 12:00～15:00 於：名古屋・安保ホール
内容：1. 本年度特殊鋼販売加工技士研修講座の講義方針と内容について
2. 特殊鋼販売加工技士研修制度の改善案

第36回調査研究委員会

日時：平成21年9月17日 12:00～14:00 於：鉄鋼会館
内容：1. 第50回景況アンケートの結果報告(回答率48%、教育訓練助成金制度他)
2. 第51回景況アンケート(7～9月)の設問について

第14回経営効率化委員会

日時：平成21年7月14日 12:00～14:00 於：名古屋・安保ホール
内容：1. 「玉掛け技能講習会」各支部の開催状況及び予定について
2. 金融関係勉強会について
3. その他(共通通い箱、法律無料相談窓口PR用ちらし他)

第21回広報委員会

日時：平成21年11月18日 14:00～17:00 於：鉄鋼会館
内容：1. 「はがねの日」対外的な事業について
2. 広報誌「すていーる39号」の校正・確認

第26回青年部会正副部会長会議

日時：平成21年7月9日 15:00～17:00 於：大阪・鉄鋼会館
内容：1. 第9回総会議事録の確認
2. 第14回運営委員会の内容について

第14回青年部会運営委員会

日時：平成21年10月16日 15:45～16:45 於：(株)アマダ・富士宮事業所
内容：1. 「はがねの日」対外的な事業について
2. 会員の入退会について他
[工場見学](株)アマダ・富士宮事業所

事務局だより

①「法律無料相談窓口」(何でも相談窓口)を気楽にご利用下さい。(経営効率化委員会)

当協会の理事である飯田理事の飯田法律事務所と法律顧問契約を結び、会員の皆様を対象に「法律無料相談窓口」を開設しております。皆様の身近な諸問題についても無料で受けられます。

引っ越してきたお隣さん。
工場の音がうるさいので
防音設備を付けたらいいけど、
その費用を請求してきた!
果たして請求に応じなければ
いけないのか…?

自転車で当たられ怪我をした!
治療費の他に通院の交通費や
着ていた服のクリーニング代も
もらってもいいの?

隣の家の匂がうちの
庭まで伸びてきた!
勝手に掘って食べたら
いけないかしら?

会社にやくざな売込みが
来て困る!
トラブルを避けて断るには
どうしたらいいものか?

身近なお困りごと、会社のトラブル、
お気軽にお電話ください。
全特協・会員会社の
社員の方も無料です。
秘密は守られます。

突然、家族が亡くなった!
遺書が残っていないので、遺産を
どう分けたいのかわからない。
骨肉の争いは絶対に避けたいけど、
うまく分ける方法は?

そうだ!
**飯田先生に
聞いてみよう**

電話 03-3666-3838 (飯田法律事務所)

相談の流れ (電話で)

1 「全特協の無料
相談窓口を利用したい」と
言ってください。

2 「会社名、全特協の支部名」
を言ってください。

3 あとは、担当の
弁護士さんとお話してください。

4 無事解決!!

② JISハンドブック及び定期刊行物購入斡旋のお知らせ

日本規格協会発行の「JISハンドブック」及び定期刊行物の購入斡旋を継続しております。是非ご利用下さい。
お問い合わせは、事務局までお電話下さい。(Tel : 03-3669-5803)

③ 共通通い箱・鉄網製「おかよちゃん」について。(経営効率化委員会)

市場より安くご提供できますので、是非ご利用ください。

鉄網製

(大) @ 10,800円 (内寸950×760×348)

(中) @ 8,500円 (内寸775×460×400)

(小) @ 5,300円 (内寸770×460×250)

(ご指定倉庫車上渡し、納期：約10日間)

注文用紙は事務局にございますのでご一報ください。(Tel : 03-3669-2777)

「はがねの日」記念切手の購入ご協力お願い

広報委員会では、平成22年4月1日の「はがねの日」記念事業の一環として、「はがねの日」記念切手を昨年に引き続き制作する事となりました。

この記念切手を1シート(80円切手10枚)1,000円でご購入いただき、その代金のうち100円を慈善事業のために寄付いたします。なお、記念切手は郵便局が1,000シート単位で受注制作し、1シート1,200円で発売しておりますが、当協会の会員様には差額を広報委員会が負担いたしますので、奮ってご注文下さいませようお願いいたします。

広報誌「すてぃーる」39号に同封いたしました注文申込書に必要事項をご記入のうえ、下記要領をご確認の上、協会事務局にFax(03-3669-0395)して下さい。同時に代金を当協会指定の口座にお振込み下さい。

記

- (1)ご注文はシート単位で**最低5シートから最大50シート**までご購入いただけます。
- (2)ご注文締切りは平成22年1月29日(金)
- (3)納期は受注後約1ヶ月

(注意)郵便局では、受注した1,000シートを一括発送するサービスしかしておらず、個別発送ができないため、所属支部事務局経由でお渡し致します。(ご希望者には着払いで郵送いたしますのでお申し出ください。)

- (4)代金振込先 (振込手数料はご負担願います。)



銀行名など	三井住友銀行	三菱東京 UFJ 銀行	みずほ銀行	ゆうちょ銀行
金融機関コード	0009	0005	0001	9900
取引店名	日本橋東支店	新富町支店	京橋支店	〇一九 (ゼロイチキュウ) 店
店番号	034	749	024	019
口座種類	普通預金	普通預金	普通預金	当座
口座番号	7278019	3839839	1658642	0409587
口座名義	社団法人 全日本特殊鋼流通協会 (シャダンホウジン センニホントクシュコウリュウツウキョウカイ)			

編集後記

今年の秋は例年になくたくさんの行事や講習会が開催されました。お陰で、記事は盛り沢山で隙間を埋める苦労もなく充実した内容になりました。

不景気な中でも、各支部の「賛助会員との交流会」は賑やかで華やかな様子が伝わったのでないでしょうか。

早いもので、今年も残り僅かとなりました。我々にはと

てもなく厳しく辛い一年になりました。この冬を越せばまた暖かな春がきます。もう少しの辛抱ですね。「激変と激震の2009年」と早くお別れて、「期待と希望の2010年」に出会いたいものです。

広報委員会委員長・広報誌発行責任者／福原実晴